

# せしぐと

SELECT

2020. 11  
NOVEMBER  
No.81

東京ワーカーズコレクティブ協同組合 <http://www.tokyo-workers.jp>

## 私の仕事術

### 「行ってみたい!」を実現

2015年4月から暮らしの中心の場を山形県遊佐町に移し、冬の間と仕事がある時に千葉県にある自宅に帰るという「二地域居住」をしています。

35年前に生活クラブ生協に加入し、組合員活動で庄内交流会に参加し、遊佐町を訪れました。鳥海山のふもとに広がる豊かな自然に感動し、「一度は美しい山の見えるところに住んでみたい」という思いを抱きました。また、生産者の方々と温かな交流も楽しく、農業に親しもうと「夢都里路(ゆとりろ)くらぶ\*」の活動にも参加しました。その中で知った、生産現場の高齢化・耕作放棄地などの問題に私なりに取り組みたいという思いも持ちました。

\*生活クラブの材を作っている提携産地での農業や漁業を応援する取り組み。後継者不足や人手が足りない産地に行って手伝いをする企画や、農業を始めたい人のための就農研修などを実施。

軽い気持ちで「遊佐に住んでみたい!」という「おいでよー辻さん」と提携生産者さんの方から誘われました。町が大家さんの家を借りられるということで退職していた夫に電話で相談しました。「いいんじゃない」とすんなり合意が得られ、あっという間の遊佐行きが決まりました。

千葉の自宅も地域の仲間が集まる場として提供していましたので、そのつながりも残し、以前から引き受けていた3か月一度ほどの仕事も続ける二地域居住を選択しました。だんだん遊佐で過ごす



遊佐の田んぼには11月になると、たくさん白鳥が飛来します

二地域居住で、  
自分らしい暮らし方を  
楽しんでいきます

辻成子



● つじ しげこ ●

1955年生まれ、千葉県出身。1985年生活クラブ加入。「夢都里路くらぶ」で遊佐の移住促進を知り、夫と共に千葉・遊佐との二地域居住。現在は生活の拠点を遊佐に置き、おこし作りと農作業のお手伝い。冬は千葉で暮らす。



生産者の小野寺一博さん一家とは親戚のようなおつきあい。弥栄子さんと一緒に

期間が長くなり、寒さが厳しい冬以外はほとんど遊佐にいます。

### 充実した遊佐での暮らし

60歳を超えた夫婦ですが、遊佐ではまだまだしっかり働き手です。毎年、米作りの手伝いをしています。春の種まきから田植え、秋は米倉庫の受け入れなど人手が必要なのです。力仕事も多いので、男の人は特に歓迎されます。私は、誘われて「おこし工房」でも働いています。遊佐町産の特別栽培米を使用した手づくりおこしを作っています。はじめは言葉が分からなくて失敗したりもしましたが、地元の方々と一緒に作業しながら、この土地のならでは暮らしを知る機会にもなっています。また、お世話になっている生産者の小野寺さんの畑に「辻の畑」と柿の木があります。お母様がいろいろ面倒を見てくださって、野菜もたっぷり収穫できます。その土地でできたものを食べることができるのは本当に幸せなことだと実感しています。

以前から友人も含め、たくさんの方が我が家に訪ねてきてくれます。地元の人とのサークル活動や遊佐に移住した人たちとの集まりもあり、どんどん仲間の輪が広がっていく感じです。

四季の移り変わりを体中で感じ、たくさんの温かなふれあいがあり、おいしい旬の食べ物に恵まれた毎日を過ごしています。

### 辻さんの庄内暮らし

[https://sanchide-kurasu.jp/katsudo\\_shokai/1484/](https://sanchide-kurasu.jp/katsudo_shokai/1484/)  
[https://sanchide-kurasu.jp/katsudo\\_shokai/1487/](https://sanchide-kurasu.jp/katsudo_shokai/1487/)



# 忘れない 3.11

## 何ができるか、現場に立って考えましょう

### 東日本大震災被災地との交流は続くー

2011年3月11日東日本大震災は私たちにとって忘れる事のできない大きな出来事でした。福島第一原子力発電所の爆発事故も含め、復興に向けた国を挙げた取り組みが行なわれ10年目に入りました。東京ワーカーズ・コレクティブ協同組合は、翌2012年から「現場に立って考えよう」をテーマに被災地訪問を毎年おこなってきました。9回目となる今年は新型コロナウイルス感染症拡大により、訪問を断念し、これまで訪問し、交流をしてきた宮城県、福島県の5人の方々とのオンライン交流会を開催する事としました。



### 第1回オンライン交流会



八木純子さん

宮城県女川町・一般社団法人  
コミュニティスペースうみねこ

### 漁業の町で作り始めた農産物を 地域の特産品に

10月31日、宮城県女川町でうみねこハウスを開設し、居場所づくりから子育て支援、高齢者支援をおこなってきた八木純子さんのお話を聞きました。

八木さんが生まれ育った女川町はこの震災で津波と地盤沈下の被害を受けました。当時の人口10,014人のうち827人が亡くなっています。被災当時、避難所の子どもたちに笑顔を取り戻してあげたいと子守りから始まった活動が2014年に拠点となる「うみねこハウス」の完成にこぎつけました。震災で、船も仕事もなくし何もすることがなくなった“漁師のお父さん、お母さん”に参加してもらい、布草履や、ゆめ玉づくりなどをおこない、商品化しました。

さらにうみねこハウスの周辺に畑を開き、軽くて3か月で収穫できる唐辛子と昔からこの地で多く植えられていたイチジクの栽培を始めました。参加した人たちの様子から、仕事があること、仲間がいることが、元気と笑顔を取り戻すことになると、八木さんは直観したのだと思いました。震災以前は、ほとんどの人が漁業に関連した暮らしをしていた女川の町で、畑を作り農作業をするという事は、なんと柔軟な発想であることか。今では、唐辛子といちじく葉茶などの加工品は女川の新たな特産物となっています。

### お父さんたちの挑戦



### 出来ることを探し、挑戦する勇気

うみねこハウスの活動は被災から年を追うごとに

役割が変わってきたとの事でした。被災当時の生きるための応援から、拠点を中心に仕事を通した生きがいづくり、そして今は被災者が復興住宅に入られ、新たな地域丸ごとをイベントや仕事づくりで伴走支援しているという事でした。東京ワーカーズ・コレクティブのメンバーたちも八木さんの活動をいつも身近に見つめてきました。この活動の中に常に「忘れたいのにあの日がよみがえる」という気持ちが八木さんの心深く沈められている事も時として感じる事ができます。

事業を柔軟に変化させ、つなげることで新たな事業にしていく、決して一人勝ちにしないで、つながってできた事業により応援してくれる人がいると感じる事ができます。



新たな商品が流通されました

こんな事業連携を自らおもしろがり徹底して取り組むポジティブな考え方や、ブランド力を見習いたいと思います。出来ることを探し、挑戦する勇気が自分自身を元気にすることが出来ます。

うみねこハウスの現在の活動である「地域づくり」はワーカーズ・コレクティブの目的でもあります。八木さんは、「3年先、5年先、どこかの誰かの為でなく、目の前にいる、この人をどうにかしたい」という事だといえます。今いる人を見過ごせない、これが八木さんの原点なのだと改めて感じました。新たな段階の活動に入ったうみねこハウスと私たちワーカーズ・コレクティブがどんな連携事業を作れるのか、考えていきたいと思っています。

(東京ワーカーズ・コレクティブ理事長 和田安希代)

### 関わりの仕方が違う

| ステージ | うみねこの活動   | うみねこの応援者の活動  |
|------|---|--|
| 避難所  | 生きるための応援<br>物資の提供<br>子守の支援<br>遊び場の提供など            | 生きるための支援<br>がれきの撤去<br>炊き出し<br>避難所運営                    |
| 仮設住宅 | 居場所・生きがいづくり<br>草履作り<br>畑づくり<br>食堂<br>さんまなたい焼き     | 生きるため・居場所支援<br>がれきの撤去<br>憩いの場所づくり<br>マッサージはじめ何かを持っての訪問 |
| 復興住宅 | 地域作りの伴走<br>(地域の中でワークショップ<br>イベントなどを作る)<br>雇用の場づくり | ?  |

## 参加者募集 オンライン東日本被災地交流会

### 「現場に立って考えよう！」 -東日本大震災被災地との交流は続く-

第2回 11/28(土) 14:00 ~ 15:30

大河原 伸さん / 福島県三春町 有機農業生産 野菜とパンの店えすべり

第3回 2021年1/23(土) 14:00 ~ 15:30

高橋 英雄さん / 宮城県東松島市 高橋徳治商店社長 生活クラブ生産者・若者就労支援

第4回 2/20(土) 14:30 ~ 16:00

有馬 克子さん / 福島県須賀川市 「銀河のほとり」店主、心と体と地球のための穀物菜食レストラン

第5回 3/13(土) 14:00 ~ 15:30

阿部 憲子さん / 宮城県南三陸町 ホテル観洋女将・被災しながらホテルを私設避難所として開放・被災地訪問時の宿泊先

主催：東京ワーカーズ・コレクティブ協同組合

共催：東京ワーカーズ・コレクティブ共済会

協賛：ワーカーズ・コレクティブネットワークジャパン(WNJ)

参加費：無料

参加方法：参加申し込みメールを東京ワーカーズ・コレクティブ事務局まで送付してください。

office@tokyo-workers.jp

## コロナ禍のワーカーズ・コレクティブ 事業所支援の動き

「持続化給付金」は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、ひと月の売上が前年同月比50%以下となった中小企業や個人事業者の事業継続の支えになるよう、支給されるものでした。

食関係などのワーカーズ・コレクティブの事業所も、コロナ禍の影響で売り上げが急激に落ち込みました。持続化給付金を申請をしたところ、法人格がないという理由で対象外とされてしまいました。法人格を持たないワーカーズ・コレクティブも開業以来ずっと法人事業税、地方税を納め続けていたにもかかわらずです。

そこで、東京のワーカーズ・コレクティブや地域で事業活動をしている団体は、国会議員を介して中小企業庁担当者とも懇談し、なぜ人格なき社団(みなし法人)が対象外なのか、対象となるように働きかけを行いました。その後、ワーカーズ・コレクティブネットワークジャパン(WNJ)と共に内閣総理大臣・経済産業大臣に持続化給付金の申請対象拡大の要望書を提出しました。

このことを新聞の読者欄に投稿した当該団体は、新聞社の担当者から、「みなし法人が対象外だということを知りませんでした。たくさんの方から現状を投稿して欲しい」と言われたそうです。まだまだ小さな非営利の市民事業への認知はすすんでいません。

また、生活クラブ生協・東京によるコロナ禍支援として、東京ワーカーズ・コレクティブ協同組合、NPO法人アビリティクラブたすけあい(ACT)など生活クラブ運動グループで話し合いを重ね、「応援キャンペーン」が実行され、組合員からのカンパも寄せられました。地域に有用な私たちの事業が多くの方の応援で事業継続に向けて進んでいきます。



### 東京ワーカーズ・コレクティブ協同組合支援基金助成

#### 第29回支援基金助成団体決定!!

##### ■ともっと事業体

6団体の共同事業体「共に働く」を紹介するための動画作成費

##### ■(一社)ワーカーズ・コレクティブ ぷろぼの工房

「ワーカーズ・コレクティブの価値と原則」に立ち返り、新たな時代を模索する「ワーカーズ・コレクティブ研究会」開催費

##### ■ワーカーズ・コレクティブ ベストファイブ

顧客・新規利用者への「お仕立て会」DM 送付費



#### 読んでみませんか!

#### ワーカーズコレクティブガイドブック 2020 はたらきかたつくろうよ!

ワーカーズ・コレクティブの説明、ワーカーズ設立の手引き、事業経営のチェックなどを掲載しています。ワーカーズ・コレクティブをつくりたい方、事業運営に関心のある方はぜひ!

価格: 1,000円(税込)

ご購入の連絡は、東京ワーカーズ・コレクティブ協同組合まで



## ワーカーズな毎日

「あくしゅ」は、住み慣れたまちで、自分たちが高齢になっても安心して住み続けられるまちをめざし、1995年に東大和市に設立されました。

NPO・ACT

### 東大和たすけあいワーカーズ あくしゅ

東大和市 042-567-2621

自立援助サービス (つながるケア)

訪問介護 (障害福祉サービス)

#### あるメンバーの一日

昨年メンバーに加入、ACT初任者研修を2月に終了し現在は、障がい者ケア、高齢者のケアと様々なことに挑戦中の新人ヘルパーの一日です。

11:30~13:00

障害福祉サービス利用者宅  
調理、排泄、掃除等

13:30~14:30

自宅にて休憩

15:00~16:00

要介護2の方 自立援助サービス利用  
車いす介助での買い物

16:00~16:30

事務所にて報告

#### 地域に開かれたつどい

年に1回利用者、地域の方、メンバーの交流を深めるため、楽しめる企画を行っています。皆さんが楽しんでくださった「あくしゅ秋の寄席」です。



#### 研修企画

地域の障がい当事者、専門の方に障がいについて伺い、研修を行っています。今回は「傾聴」です。地域の視覚障がいの方が講師です。



#### 東京ワーカーズ・コレクティブ協同組合情報誌「せれくと」No.81

〒160-0021 東京都新宿区歌舞伎町2-19-13 ASKビル5階

TEL:03-3207-1941 FAX:03-3207-1945

E-mail office@tokyo-workers.jp

http://www.tokyo-workers.jp

発行日 2020年11月30日

編集 ワーカーズ・コレクティブ 企画編集のもの

年間購読料 600円(年4回発行)